

# 神奈川県作業療法士会ニュース

## 神奈川県作業療法士会ニュース157号 目次

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 巻頭言               | 10 地域リハ部のページ         |
| 2 こんな人たちに会ってきた      | 12 理事会抄録             |
| 5 各部からのお知らせ         | 13 求人広告・講習会案内        |
| 6 代議員制度への移行について     | 15 WFOTボランティア募集のお知らせ |
| 8 OTのためのIT講座 (第15回) | 16 青年海外協力隊通信 (第10回)  |

## 巻頭言

# 「つなげよう過去から未来へ ～オリンピックに沸いた夏～」

第14回神奈川県作業療法学会 事務局長 森田浩美 (国際医療福祉大学)



この夏は日本中がオリンピックに沸きましたね。暑さとオリンピックの応援とで連日寝不足という方も多かったのではないのでしょうか。ところで、国別メダルランキングというのは金メダルを基準にしているらしく、8月8日現在、日本は出場国204カ国中20位ですが、総メダル獲得数ではトップ10に入っています。素晴らしい活躍ですね。これからサッカー女子決勝戦、サッカー男子3位決定戦をはじめ、まだ競技は残っていますから、最終結果がさらに楽しみです。

試合を終えた選手の言葉からは、それまでの並々ならない努力と苦労、周囲の人たちへの感謝の気持ちが伝わり、毎日感動をいただいています。「努力は報われる」、「日々の練習は裏切らない」などと言われますが、一発勝負にはアクシデントもつきもの。目指す大会に照準を定めて心身ともにコンディションを整え、なおかつ結果を残すことは必然とも奇跡的ともいえるような気がします。また、「何年ぶり」、「史上初」などという言葉を目にするたび、先人たちの努力の上に今があるのだなぁと感慨を深くいたしました。

さて、われわれ第14回神奈川県作業療法学会実行委員会も、着々と来年4月に向けて準備を進めています。テーマは『つなげよう過去から未来へー作業療法の挑戦ー』です。ここ神奈川県の作業療法も40年以上にわたる歴史を持っています。われわれ作業療法士が今こうして社会的に認められ働いていられるのも、歴史を紡いできた先人達のおかげです。本学会がその歴史に触れ、これからの日々の臨床に役立つことを学ぶ場となることを願い、プログラムを検討しています。少しずつ固まりつつありますが、具体的内容についてはもうしばらくお待ちください。また、8月1日より演題募集が始まりました。こちらの方も一人でも多くの方が発表できるように

との思いをこめて演題募集要項を考えました。新人さんもベテランの方も、どしどしご応募ください。特に、「このような内容はどうか…」、「発表は初めてだし緊張するな…」などと迷っている方、迷ったらまず応募してみてください。このような時こそ先輩に相談してみるのも一手ですね。

学会についてまだまだ存じないという方は、「小田原学会」と検索してみてください。一番に出てきます。あるいは神奈川県作業療法士会のホームページから入ってみてください。本実行委員会は、広報部の牽引力が大きく、いろいろな面で引っ張ってもらっています。どこで、誰に、どんなふうに宣伝したらいいか、広報部はアイディア満載です。これから開催される研修会・勉強会などにも広報部員が出向いて学会のお知らせにまわる予定ですので、みなさま楽しみにお待ちください。



小田原ちゃん夏まつり

## こんな人たちに 会ってきた



### リンクスマンタルクリニック 音楽バンド 「All For One」



右：ボーカル 五十嵐 慎司さん  
左：キーボード 相沢 暁さん

#### 障がいをオープンにした音楽活動

先日、統合失調症など心の病を抱えた方が音楽バンドを結成して音楽活動をしているとの話を聞きました。とりわけデイケアを中心としたプログラムの中で音楽活動をしている音楽バンドはあるかと思いますが、今回取材に伺った音楽バンド「All For One」は障がいをオープンにしながらも地域のイベントなど一般の方々を対象としたコンサートを積極的に行っているとのことと興味を抱きました。自分達の気持ちを込めて作り上げた音楽を奏でると共に、企画や運営も自ら担当して行う、そして障がいをオープンにして活動を行っていくことに対し、音楽バンドのメンバーがどのように感じ、どのように捉えているのかと思いました。そして最近よく耳にするリカバリーの視点がAll For Oneの皆さんには見えそうな気持ちを抱きつつ、先日取材に行ってきました。折しも院内でコンサートを行うとのことと、期待を胸に伺いました。

All For Oneは横浜市都筑区にあるリンクスマンタルクリニックのデイケアに通うメンバーさんが結成した音楽バンドです。当初は2人から参加し、一時は7人まで増えました。私が取材した時は男性3名、女性1名で活動しており、ボーカル、ギター、キーボード、パーカッションで構成され、歌う曲によって担当を交替していました。

All For Oneが結成されたのは5年前で、「きついたりハビリも好きな音楽を行うことから前向きになれるのでは？」との思いから。練習はデイケアの一室を使用しています。メンバーの中には週1回のみ参加の方がおり、メンバー全員で合わせる時間はたくさんありません。そのような限られた時間の中で各メンバーが工夫をしながら取り組んでいます。当初

SMAPの「世界に一つだけの花」などメジャーな曲をコピーしていましたがそれだけでは満足できなくなり、1年半前からはオリジナルの曲作りがスタートしました。友人の悩んでいる気持ちに対してエールを送る「大丈夫、あきらめないで」が一番最初に作った曲で、人との関係を築く戸惑いや難しさを歌った「ふたりはトモダチ」など今では多くのレパトリーを持つまでになりました。活動はデイケア内だけにとどまらず、高齢者施設や児童養護施設、地域のイベント参加にまで広がっています。その後、昨年末にはCDを製作すると共に市販のオムニバスCDにも曲が取り入れられるなど、様々なチャレンジをしながら前向きに頑張っている様子をつぶさに感じました。

取材での院内コンサートはデイケアのメンバーさんと一体化し、とてもアットホームな雰囲気を感じました。初披露のオリジナル曲を含めて約1時間。コピー2曲、オリジナル5曲を気持ちをこめながら熱唱していました。オリジナルの曲はどこか自分達の内的な側面を素直に表現しているような印象でした。途中で楽器の弦が切れるハプニングなどもありましたが、焦りすぎることなく無難に対応されていました。コンサート中にMCもあり、自分達の熱い気持ちをデイケアのメンバーさんである観客に伝えていました。その中であなたにとって音楽とは？との質問がありました。All For Oneメンバーは「生涯の友」「生涯掛けて音楽を極めたい」と話され、音楽に対して真摯に取り組む姿勢が感じられました。コンサートは大盛況のうちに終了しました。

#### メンバー共通の最大の目標

#### 「障がいの有無に捉われない、ココロの交流」

コンサート終了後、All For Oneのメンバーの皆さんに、お話しを聞くことができました。コンサートを無事終え、表情には安堵と共に満足された様子を感じられました。

メンバーの皆さんには音楽活動を行っている中での気持ちについて語ってもらいました。

「ストレスもあるけど、音楽で発散している」

「辛いことがあっても続けることが音楽を共有する中ではできている」

「みんなが集まって同じ目標に向かうことは苦しいこともあるけれど楽しい」

「仲間がいるからこそ音楽ができると思う」

「今回のライブ1回限りの参加で、練習の3～4ヶ月間は苦しいこともあったけど、メンバーのみんながいるから楽しめた。助けてくれた。自分としては良い思い出になった。良い仲間だと思う」

どのメンバーとも話しぶりから充実感があると共に仲間意識を強く感じました。また、音楽と真剣に向き合う中で大変なこともありながらも前向きに捉えている姿は、とてもさすが



取材をした日はデイケアでのコンサートをしていました。観客と一体になって盛り上がっていました。

がしい気持ちになりました。

次に音楽活動を通じて心の病を持っている方や健常者へ伝えたいことを話して頂きました。

「今までの自分が通った道を作詞して、その気持ちを伝えたい」  
「作詞をしていると悩んだりしていることがわかり、一緒に生きていこうと伝えたい」

「好きなことや興味あることをやっていたらいいことがありそうな気がする。人間関係は難しいけど、音楽を媒介にすれば伝えられる」

「(心の病を持った人は) ピュアな方がたくさんいる。ポジティブなメッセージを発信したい。自分の可能性に気付いていない方に頑張ってもらいたい。応援歌のようなもの」

と音楽を通したメッセージを通じて、自分達の気持ちを伝えていきたい感じが感じられました。

その中で、メンバーの一人がとても印象的なことを話してくれました。

「(音楽を作る上で) 健常者、障がい者という枠組みで考えるという感じではない」

障がい者、健常者と線引きをせず、同じ人間として音楽を通じてメッセージを伝えているとの見解に、障がい者と健常者でわけていた私自身の質問は意味をなさないと恐縮しました。この部分にメンバー共通の最大目標として掲げている「障がいの有無に捉われない、ココロの交流」があると思います。メンバーの皆さんは自分達の障がいにとらわれず、率直に自分が伝えたいことを音楽を通じて伝えているのだと確信しました。それは彼らが音楽を通じてリカバリーされた結果なのかもしれないと感じました。「音楽を行うことで生活リズムが整ってくることを実感した」との話も聞かれ、音楽が生活の一部となっていることで、人生そのものが潤っているように思えました。

## 取材を終えて

今回の取材を通してAll For Oneの活動は障がいの枠を超えていることを強く感じました。世の中が障がいを個性の一部として考えることができれば、障がいを持っている方はより安定した生活がしやすいものと思います。しかし、社会において障がいの認知、とりわけ精神障がいは偏見が強い印象があり、まだまだ地域で穏やかに過ごす条件は整っていないと思います。

私たちOTは様々な治療を通じて社会に貢献していますが、院内に留まって働くOTが多いことが現状です。ここ数年は地域リハ推進に向けた動きがクローズアップされています。地域に対する活動を盛り上げていく中で、障がいに対する偏見



1月に行われたライブではたくさんの方が聴きにきて下さいました

や差別を低減していくこと、そのためには地域の方々への障がいに対する理解、啓蒙が必要です。心の病をオープンにしながらリカバリーされている「All For One」のような方が地域で活動することが社会に対して障がいという障壁を低くするものと感じました。障がいに携わるOTが地域に目を向け、より当事者の方が過ごしやすい社会を作り上げていくこともリハビリ職として大切なことではないかと思いました。

(文責：千葉)

### リカバリーとは

アメリカで1980年代後半より登場し始めた概念。そのプロセスは多様多種であり、様々な定義が多くの当事者や専門家によりなされている。

- ・病気からの回復ではなく、人々の偏見、精神医療の弊害によりもたらされる障害、自己決定を奪われること、壊された夢などからの回復である。
- ・リカバリーはプロセス、生活の仕方、ものの見方、その日のチャレンジへの対応の仕方である。
- ・それは完全に直線的なプロセスではない。時にそのコースは一定せず、我々はつまずき、後戻りし、まどめなおし、そして再び始まる。
- ・障害の限定を越えた新たな、そして価値のある全体感を再び築き、目的を見直すことが必要である。
- ・そのインスピレーションとは、その人が大切な貢献をしている地域の中で生活し、働き、そして愛することである。

(パトリアディーガン、1996)

### もう少しわかりやすく表現すると……

なりたい自分(自分らしさ)を見つけて(探して)慣れ親しんでいるやり方、生き方から自分が本当に望んでいることに向けて、一歩ずつチャレンジしていくこと

## 今後のAll For Oneライブの予定 是非、足を運んでみて下さい!!

- ①10月27日(土) 13:30~16:00 (第1部出演/演奏時間30分程度)  
場所: 横浜ラポール1階 ラポールシアター「ラポール芸術市場: 舞台発表の部」
- ②11月2日(金) 午後 (出演バンド多数/演奏時間30分程度)  
場所: 東海大学「建学祭: アコースティックLIVE」

詳細は随時ホームページにて掲載します

All For Oneホームページ(リンクスマENTALクリニック): <http://linksmental.com/>

問い合わせE-mail: [all-for-one@linksmental.com](mailto:all-for-one@linksmental.com)

興味のある方、応援して下さい、なんでも結構です。お気軽にお問合せ下さい。

## ふたりはトモダチ

作詞・作曲 五十嵐慎司／編曲 相沢暁

君の痛み 恐れ 悲しみ その規制  
雷によって 仕切られた 世界触れれば 虫に刺された 腫物  
掻きたくないのに 掻いてしまう 厄介者爪でバツテンを つくってみるけど  
ほんとはわかってる  
あったかい あったかい お湯が一番だって※1 JUST YOU ARE JUST YOU ARE  
そのまんまでよかった  
WAIT FOR ME WAIT FOR ME  
きみのとこまでゆくからどうしたら 君と共にいられるんだろう  
追いかけるけど 虹の色 WOW見えないバリア はってあるから  
少し鉛筆 指でまわして 考えるこころ 理解すること できないけれど  
ほんとはわかってる  
となりで君は 菓子をかじって 笑っているから※2 どこまでいっても ふたりは平行線  
わかって? わかりたい!  
ふたりはトモダチこころ 理解すること できないけれど  
ほんとはわかってる  
君と僕は 同じことで 笑い合えるから

※1

※2

## 大丈夫、あきらめないで

作詞・作曲 五十嵐慎司／編曲 相沢暁

君の探してる 答えはみつかったかい?  
君の悲しみ 涙になって流れたかい?  
君の心の 深い願いはかなったかい?  
君の心の いたみは癒されただろうか?答えはいくつもの星のように 目の前に輝いていて  
そのどれかを 今 君は選んでる  
その星がやさしい光であるように  
ぼくはいつでも 祈っている  
どんな さみしく 孤独の中 たとえ星などないと 泣く夜も  
いつでも星はあるんだよ ただ ただ 輝いているんだよ  
だから 君は ぜったい 大丈夫君はボロボロになって 声いっばいにして  
なげかけてきた「もう 終わりにしたい」  
でも そのとき 夜空の星々が 流れ星となって  
美しいものはまだ あるんだよ あるんだよ答えはいくつもの星のように 目の前に輝いていて  
そのどれかを 今 君は選んでる  
その星がいつでも どんな時も  
新しいはじまりをつけている  
どんなに つらく 長い夜の中 たとえおわりに 感じてても  
いつでも星はあるんだよ 新しい冒険が待ってるよ  
だから 生きることを あきらめないで君の探してる 答えはみつかったかい?  
君の悲しみ 涙になって流れたかい?  
君の心の 深い願いはかなったかい?  
君の心の いたみは癒されただろうか?

最初は緊張した面持ちでしたが、徐々に楽しんで歌うことができていました

松山千春さんの「大空と大地の中で」  
途中、五十嵐さんの声量を活かしてアカペラで歌う  
場面も見受けられました

大勢の観客の前で気持ちよく歌っています

インスト「ダニーボーイ」  
メインボーカルの五十嵐さんはギターやキーボード  
等多彩に楽器を演奏します

# 各部からの報告

## 地域リハビリテーション部

### 〇《今年度の研修会案内》

- ①第2回OT・PSW合同研修会 9月2日(日)開催  
 ②ALS者のコミュニケーション支援講習会 9月15日(土)開催  
 ③訪問リハビリテーション地域研修会基礎コース（日本訪問リハビリテーション協会との共催）12月予定

予定・未定のは決定次第、ウェブサイトに掲載いたします。

今年度も多くの会員の参加をお待ちしております。

### 〇《訪問リハ実施施設の掲載》

既にご存じの方も多いと思いますが、県士会ウェブサイト「地域リハの“わ・輪・和”」というコンテンツに掲載しています。

その中に“訪問作業療法実施施設”をみなさまの協力のもと掲載いたしております。

今年度は更に作業療法士の所属施設のみではなく、理学療法士や言語聴覚士の所属施設も掲載いたします。

神奈川県民への有益な情報源ですので、未だ掲載していない事業所の方々には是非ともご協力をお願い申し上げます。

### 〇《生活行為向上マネジメント 研究事業開始!!》

老人保健健康増進等事業における日本OT協会の生活行為向上マネジメント関連研究事業が始まりました。研究事業の一部でもある「訪問介護との連携」には神奈川県士会が協力することが決まっています。

訪問介護事業所のヘルパーに県士会員が自立支援のためのプランニングを引き継ぎ、OT介入の前後で健康関連QOLの尺度の一つであるHealth Utilities Index (HUI) などを使用して効果を測定します。

研究報告（おそらく来年度以降）はOT協会からの発刊物やウェブサイトにてご確認いただければと思います。

（地域リハビリテーション部 木村）

## 教育部

県士会ウェブサイトから質問ができます！

### 〇連載！

#### 「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しづつお伝えしています。

#### 1. 県士会SIG認定団体に1団体を承認しました（7月理事会にて）

名称：県西地区リハビリテーション連絡協議会

神奈川県士会では現在14団体を認定しています。この団体主催の研究会・学会等は参加証明書によりOT協会生涯教育制度の基礎ポイントとなります。各団体の詳細は、県士会ウェブサイトの生涯教育制度コーナーをご覧ください。

#### 2. 事例報告登録制度研修会に関して

申し込み受付中！詳細は今号チラシ、ウェブサイトにて

10月28日(日) 10:30~12:00 (受付10時より)

ウイリング横浜

\*詳細は同封チラシをご覧ください。

\*現職者共通研修開催時の午前中開催、現職者共通研修とは別の研修会となります。

#### 3. 現職者共通研修 申し込み受付中！

詳細は先月号ニュースチラシ、ウェブサイトにて  
 9月29日「作業療法生涯教育概論」、「保健・医療・福祉と地域支援」、「作業療法の可能性」

9月30日「作業療法における協業・後輩育成」、「事例検討方法論」、「日本と世界の作業療法の動向」

10月28日「職業倫理」、「エビデンスと作業療法実践」

#### 4. 現職者共通研修

「事例報告」、「事例検討」のご案内を同封チラシに掲載しましたので、今から準備を進めてください。

生涯教育制度に関してご不明の点はご連絡ください。

県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部 奥原孝幸（昭和大学） 045-985-6500（代）、  
 kyoiku@kana-ot.jp

## ウェブサイト管理委員会

### 〇団体の皆様も県士会へ賛助会員として入会できます！

県士会サイトにおける賛助会員B（団体）特典の紹介  
<http://kana-ot.jp/association/supporting-member.htm>

よこ太：ハマ子の実家って魚屋さんだっけ？

ハマ子：そうよ、磯子の磯屋。

よこ太：お家はさ、県士会に入会する気はないかな？

ハマ子：？？？魚屋がなぜ入会？

よこ太：うん、県士会の活動目的に賛同する団体は、賛助会員Bとして入会できるよ。

ハマ子：だから魚屋が入会してどうする？

よこ太：アピールになるよ。県士会の活動に賛同する魚屋さんって！地元を愛し、横浜を愛し、神奈川を愛し、地産地消で県民の健康と福祉に寄与する魚屋「磯子の磯屋」！

ハマ子：理念だけじゃなくて、直接的な旨味が必要よ。

よこ太：特典の一つに県士会サイトの右上にロゴを掲載するというのがある。しかも賛助会員B（団体）の年会費のみでOK！追加の費用は必要ないんだよ。

ハマ子：ふーん、実家は入会しないけど、それは良い特典かも。でも、この記事読む人ってほとんどが正会員、つまり個人だよ。この記事が賛助会員の増加につながるかな？

よこ太：ふふ、実家が自営業の正会員向けの記事だよ。

ハマ子：そこ違うでしょ。この記事を読んだ正会員の皆さん、自分の職場や所属している学術団体などへ賛助会員としての県士会への入会を勧めてみてはいかがでしょう？詳しくは上記URLへアクセスしてください。

（文責：ウェブサイト管理委員会 作田）

平成24年7月アクセスランキング

- 1位 作業療法Tips & PDF 21985件
- 2位 講習会・研修会 16035件
- 3位 必見！OTのすご技・アイデア集 11126件
- 4位 求人情報掲載板 8765件
- 5位 再学習☆応援講座 3627件

平成24年7月県士会ブログランキング

- 1位 ウェブ管的知恵袋 597件
- 2位 ALS支援ブログ@KAOT 313件
- 3位 Hideki Tanaka's Blog 266件

更新件数：95件 訪問者延べ数：18285人

Kanaからの手紙発行回数：35回 登録者：168名

Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロワー196名

# 総会から代議員会へ

## ～代議員制度への移行について～

代議員制度対策委員会委員長 錠内広之

神奈川県作業療法士会も会員数がいよいよ2000人に近づいてきた。そして、後1～2年で確実に2000人を超えるであろう。都道府県別に見ても全国で4番目に位置する会員数となり、県士会運営も益々の効率化が求められている。

そんな中、一般社団法人日本作業療法士協会では2012年度より代議員制度を導入したことは記憶に新しい。全国47都道府県をブロックとして197名の代議員が選挙で選出された。昨年まで総会と呼ばれていたが今年度より代議員会と名称が変更になり、学会とは別日程で開催された。欠席者3名を出したものの出席者は179名であり、その他委任状の提出などを含めて結果的に98%の参加率を得て開催されている。

神奈川県からも代議員は選出されており、そのうち数名は県士会理事も含まれる。出席した理事に感想を聞いたところ「今までの総会より開催時間は長いように感じた。しかしこれは意見が多かったということでもあり真摯な意見交換が交わされた結果である。」とのことであった。今までの総会でも多くの意見が述べられてきた事を否定することではなく、神奈川県作業療法士会総会においても事実多くの意見が交わされてきている。しかしながら当士会総会参加者については平均すると50名に満たないのが現実であり、総会運営を考え直す理由になっているのもまた事実である。

全国都道府県作業療法士会でも代議員制度を導入している士会がいくつかある。その中でT県士会に今年度の代議員会について尋ねたところ、会員数は当士会の半数程度であり代議員数は27名、出席者は24名であり委任状を含めて参加率は100%であったという。代議員数は士会員数の規模により様々であるが参加率に関しては上がるものと考えている。

神奈川県作業療法士会でも2年前より企画調整委員会を中心に代議員制度についての検討を行っている。その中でブロック制について検討してきた経緯

がある。これは代議員選出における公平性を担保する上で検討されてきた内容である。都市集中型でなく、なおかつOT在籍少数地域に負担のかからないブロックをどうするのかという検討である。

地域	人	地域	人	地域	人
横浜市	684	三浦市	14	松田町	2
川崎市	199	海老名市	14	開成町	1
相模原市	124	伊勢原市	10	綾瀬市	1
厚木市	82	大磯町	10	相模湖町	0
横須賀市	77	南足柄町	10	山北町	0
鎌倉市	67	城山町	11	藤野町	0
秦野市	67	寒川町	7	大井町	0
藤沢市	66	愛川町	7	津久井町	0
小田原市	62	湯河原町	6	葉山町	0
茅ヶ崎市	60	清川村	6	二宮町	0
大和市	47	箱根町	5	真鶴町	0
平塚市	45	中井町	4		
座間市	22	逗子市	3		

表1 市町村別会員数

表1を見ていただきたい。これは2012年2月のデータである。県士会の会員登録は所属施設での登録と自宅住所での登録の2種類あり、これらを合わせた人数の市町村別会員登録数を示した表である。上から横浜、川崎、相模原市が政令指定都市になり、登録人数が0人の地域もある。

地域		人
川崎		199
横浜		684
横須賀三浦	鎌倉市、逗子市、葉山町など	161
湘南	藤沢市、茅ヶ崎市など	265
西湘	小田原市、箱根町など	73
足柄上	山北町、南足柄市など	17
県央	清川村、愛川町、厚木市など	179
県北	相模原市、城山町など	135

表2 保健福祉圏域別会員数

表2は保健福祉圏域といって保健福祉行政を行う上で近隣地域が区割りされているもので、これに会員登録者数を当てはめた表である。

これらのデータを基に検討した結果、代議員制度対策委員会（案）としては2ブロック制を考えた。これは、政令指定都市とその他の地域に区割りする考え方である。神奈川県下の多くの活動も政令指定都市とその他の地域に分けて意見反映されながら行政判断されていくのが一般的である。市町村別のようにあまり多く区割りするのも現実的とは考えられず、また保健福祉圏域では会員登録数にかなりの開きがある。このような理由から2ブロック制を提案

したい。

このように、一つ一つの案件に根拠を求めまた他組織も参考にしながら現時点では表3のような提案をしたい。また、現時点で考えられる課題を表4にまとめた。まだまだクリアしていかなければいけない課題は多いが、益々規模を拡大していく県士会運営の効率化のために県士会員の皆様の意見をお願いしたい。県士会ホームページからの投稿、事務所への電話連絡、またお近くに在籍している理事・役員へ直接意見を言ってもらえるなど、多くの意見をお願いしたい。

	(案)	根拠
区分け	2ブロック制 ・政令指定都市 (横浜市+川崎市+相模原市 会員約1000人) ・その他の地域 (会員約700人)	・行政判断もおおむねこれに準ずる ・少数地域を独立ブロックにすると委員の負担が大きくなる ・現状で数的にも約半分 ・ブロック数は少ない程管理が容易
選出方法	選挙 (欠員の場合は推薦)	公平性
選出比率	1/30	・総会平均参加者数は過去50名程度
任期	2年	理事任期に準ずる

表3 代議員制度 (案)

課題	対策委員会 (案)
代議員定数確定日	10/1現在。(OT協会に準じる)
選挙・推薦方法	・郵送による投票。 ・立候補者が定員に満たない場合は一般公募推薦とする。
欠員の場合	・県内移動に関しては任期満了まで代議員資格を有する。 ・正会員の資格喪失 (定款第11条) 場合は欠員とし議決定員総数を減らす。
総会 (代議員会) 参加資格	・理事 (代議員でなくても可。この場合議決権なし。) ・代議員
代議員の役割	・議決権の行使 ・議案の提出 ・議長団
代議員交通費	・総会 (代議員会) は県士会最高決議機関であり、組織図上下位組織にあたる理事会に交通費が支払われるのであれば代議員会も同様にすべき。
代議員運営規約の作成 定款の改訂	・事務局で作成 ・規約委員会で確認

表4 課題の抽出

# OTのためのIT講座

## 第15回 OTのための情報セキュリティ(3)



講師  
石川 敢也さん



松本 この連載でセキュリティことを知ってから、私も情報の安全とかアクセス制限が必要だなんてことを意識するようになりましたよ。



石川 それは良かったってことですよ？知ってから面倒なことになったとか。(笑)



松本 いやあ、面倒というか、なるほどと思う場面があるというか。例えばですね、たまに利用するインターネットのサイトから「現在のパスワードを、半角の英字・数字・記号を2種類以上組み合わせた8文字～16文字のパスワードに変更してください」というお知らせが来たんですよ。これからは、そうしないと利用できないって強制ですね。今まではアルファベットで4文字のパスワードを使ってたんですけどね。



石川 なるほど。その変更は、パスワードの強度を上げて、**総当たり攻撃といわれるブルートフォース攻撃による不正アクセスを避けるため**でしょうね。



松本 でもパスワードを探し当てるなんてことが実際にできるんでしょうか？



石川 例えばキャッシュカードなどで使う数字4桁の暗証番号でいうと、**1万回チャンス**をくれれば、**誰の暗証番号でも分かっちゃいます**よね。



松本 それは0から9999の数字を試してみれば必ず当たるってことですよ。でも本当にやってみるのは現実的じゃありません。



石川 そうですね。ATMでは回数制限がありますし、そもそも怪しすぎます。(笑)でも、インターネット上で、自動的に実行するようにプログラムされた仕組みがあれば、できそうな気もありませんか？



松本 なるほど、それは可能ですね。**数字だけじゃなくて、AAAAからZZZZまでを試すこともできる**ってことですね！



石川 そうですよ。総当たり攻撃の他にも、**辞書に載っている英単語を使う攻撃**もあるんです。



松本 でもね、困ったこともあるんですよ。自分のパスワードが覚えられないんです。アルファベットだけだったり、数字や記号も混ざっていたり、6文字だったり8文字だったりすると、もうダメですね。(笑)



石川 いやいや、それは笑い事じゃないですよ。



松本 さらに「パスワードは3ヶ月ごとに変更してください」とか「安全のため登録サイトごとにパスワードを変えてください」なんていう警告もありまして。(笑)



石川 それは覚え切れないですね。**セキュリティの強度と使い易さは相反します**からね。両立させるのは難しいんですよ。パスワードの例でいうと、あまりに複雑なものを強制すると「覚えられないから紙に書いてパソコンの脇に貼り付けておく」という対応になってしまったりします。こうなると本当に笑い事じゃないわけです。



松本 でも短くて簡単なパスワードだと解読されてしまう……堂々巡りですね。どうすりゃいいんでしょうか？



石川 文字によるIDとパスワードの認証を半ば諦めて、例えば、**指紋によるバイOMETRICS (生体) 認証**を併用するとか、さまざまな試みが実用化されてますね。



松本 指紋による認証って、私が前に使っていたノートパソコンに付いてましたけど、使わないまま終わってしまいました。



石川 そうなんですよね、バイOMETRICS認証は、さまざまな仕組みが開発されているんですが、一致するという判定基準を厳しくすれば安全性は高まりますが、体調によっては本人でも認証されなかったり、逆に判定を緩くすれば誤って認証してしまう危険がでてくるので、使いどころが難しいですね。



松本 あ、そこで前回の記事に出てきた**情報資産の格付けが大切**になってくるわけですね。



石川 そうです。よく思い出してくれました。(笑)



松本 インターネットでも、メールやドキュメントを使っているグーグルのアカウントと、ゲームで遊んでいるだけのサイトでは重要度が違いますからね。



石川 そうですね。なにが重要なのかは人それぞれなので、現実的なところで上手く使い分けることも必要でしょうね。



松本 個人のことでもこんなに難しいのに、職場でのセキュリティ管理はもっと難しいってことですね。



石川 組織での運用の指針としては、個人情報保護法やISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) の考え方などが参考になりますよ。



松本 個人情報保護法っていう名前は聞いたことがありますよ。ちょっと前にできた新しい法律ですよ。



石川 そうです。住民基本台帳ネットワークとか個人情報が漏洩する事件のときに出てきますね。**特定の個人を識別できる情報を適正に取扱いましょう**という法律です。



松本 ということは、私の職場も気をつけないといけませんね。



石川 もちろん気をつけるのは大事ですが、個人情報保護法の対象は、個人情報のデータベースを仕事で使っていて、過去6か月以内で5千人を超えるデータを扱っている組織ということになっています。



松本 なるほど。すべての職場が対象になるのかと思ってました。



石川 まあ、これは個人情報保護法の規制を受ける組織かどうかという話ですから。どのような組織でも、情報の保護は大事ですね。



松本 そうですよ。う～ん、今回は**セキュリティも大切だけど使い易さも大切**っていう、なんだかもどかしい話でした。



石川 あはは。(笑)「こうしておけば大丈夫だ!」っていう正解がないですからね。「気をつけてくださいね」っていうだけで。(笑) 次回は、情報セキュリティ対策基準についても触れてみたいと思います。



松本 わかりました。難しそうですけど、楽しみにしてまっす!

# 地域リハビリテーション部

## 地域リハ推進班

### シリーズ「認知症の作業療法」 ベテランOTへの インタビュー



川口淳一先生 プロフィール

養成校卒業後、長崎市内の病院に勤務し、中枢疾患や整形疾患の高齢者を対象にリハビリテーションから在宅訪問まで一貫した援助を行う。その後、北海道富良野市の介護老人保健施設へ赴任。施設ケア改善の取り組みに加え、重度認知症高齢者のワークショップ開催、高齢者とのコミュニケーションを通してその声に耳を傾けた細やかなエッセイ集『リハビリテーションの不思議—聴こえてくる高齢者のこころのこえ—』（青海社）の執筆など、意欲的に活動。3年前より茨城県に移り、現職。

## 認知症の作業療法 後編

特定医療法人社団同樹会 結城病院  
川口淳一 先生

—現在の勤務先である身体障害領域の病院における、認知症の方との関わりについて教えてください。

### ●ケースを通して、認知症の方との関わり方を伝える

今勤めている病院は、急性期から慢性期まで幅広く対象とする病院で、僕は主に回復期に関わっています。先日、院内で調べたところ、リハビリをしている方の56%の方に、回復期でも46%の方に認知症の症状があることがわかりました。つまり、認知症のことを理解した上でなければ、ここで仕事をするのは難しいと考えています。

老健に勤めている頃は、一度関わりを持つと、最後までその方の生活支援に責任を持つという意識がありました。つまり、その方とその症状と向き合うことを考えます。しかし、病院は退院させることが何より大切。もっとふさわしい場所があるでしょうという立場です。薬剤の使い方も違います。何より違うと感じていたのは、認知症の方の行動を理解しようとする姿勢のスタッフが、リハスタッフの中であっても少ないということでした。

あるリハスタッフは「認知症があるので拒否されました。今日はリハビリ室に連れて来られませんでした」と言いました。僕の新人の頃の光景が思い浮かび、未だに『認知症はリハビリの阻害因子』という考えが残っているのかと、愕然としました。

そこで、まずは自分が率先して、関わりにくいと思われる方、暴力的な行為がある方などを担当しました。なかなかうまくはいきませんが、あれこれと試していく中で、その方がまた歩けるようになったり、リハビリを通して関わり方がみえてくるケースはたくさんいます。関わることすらできない、という状況から、関わることはできるようになるわけです。

—まずは、川口先生がお手本と言いますか、関わり方を他のスタッフに伝えることから始めたのですね。

### ●チームのみんなが同じ目線をもつ

とくに病棟では、認知症の方を「困った人」と捉える向きがありました。これは夜間の大変さなども考えると確かにそうかもしれません。しかし、認知症という1つの脳の病気を持つ「人」として周りに関わるのが本来なのです。忌み嫌われるような人物として捉えられてしまうのは、あまりに悲しいと思いました。

その後、院内で認知症の勉強会を始め、現在も続けています。強制参加にはせず、どの職種でもどうぞ、という形で実施しています。最近では、かなり多数の看護師が参加してくれるようになり、意識が変わりつつあると感じます。最近の勉強会では、問題が多いと捉えられやすい方々を対象としてOTの小集団訓練を実施し、その様子をビデオ撮影したものを使用しました。ビデオを多職種で観察しながら、参加者のその時の表情の意味を考えたり、普段みられている行動の理由を考え、話し合いました。

この3年間で、スタッフからの「あの方は無理です。関わられません」というような相談は確実に減っています。見方やケアを変えることで、その方の反応が変わるということ、一人ひとりのスタッフが、日々成功体験として蓄積してきた結果ができたのだと思います。

一病院、老健、そして今また病院でご活躍されている川口先生ですが、場所がどこであっても変わらない、ということでしょうか？

もちろんです。どこでも変わらないですよ。していることは同じです、いつも。

一では次に、川口先生が、認知症の方との関わりで最も大切にしていることを教えてください。

### ●生活に足りないものを補う

僕は「生活」という作業を5つに分けて考えています。1つはADL。これがなくては、人は生活できない。2つめに役割や仕事。3つめは遊び。これがないと非常につまらない生活になってしまう。4つめは人間関係。一人で生きていけないわけがない。そして5つめに休養。この5つのどれかが0（ゼロ）になると、自分の今の暮らしに足りないものは、人は無意識のうちに補おうとするものです。

例えば僕らだって、知らない土地に引っ越して寂しい思いをしていると、友達や親と長電話をすることで人間関係を補います。学生さんであれば、試験前に時間がないというのに本屋さんで自分がわくわくするような雑誌を立ち読みしてしまったり、無性にカラオケに行きたくなったり、なんてことがありますよね。それは生活に、遊びが足りなかったら、どこかで補おうとしているのです。

入所したばかりの方が、翌朝から徘徊が止まらなくなる、ということがあります。徘徊、それだけを見れば、歩き回っているだけのようにも見えますが、その行動には必ず理由があるはずで、知っている風景も、いつもの役割もない、見慣れた顔もない。その姿はまるで、何かを探しているようにも見えます。

僕たちは、生活に足りないものがあれば、自ら補う手段を持っています。しかし、それを持っていない方々が目の前にいるのです。ですから、その方の生活に「足りない部分を補う」という意識をもつことが大切なのです。ADL、役割・仕事、遊び、人間関係、休息の全てが100%満たされている人はいません。でも、この5つが「ある」ことが大切なのです。決して0（ゼロ）にはしてはいけません。

5つの視点から「生活」をしっかり見ていくことで、その方に対して支援すべきことが見えてくるはずだし、支援することが何もない、なんていうことは絶対ないです。

### ●生活感を失わない支援

向上できるADLは向上させて当然です。でも、だからといってADLだけが満たされていれば人は「生活している」といえるでしょうか？食事して、トイレにいった、寝て、たまに着替えて…そんな風邪引いたときの生活でしょうか？それを何とも思わないのは絶対におかしいと思っています。だからこそ、OTが支援していくべきことがあるのです。例えばベッド上であっても「生活」があるように僕は思っています。その人の生活感を失わない支援が大切なのです。

### ●本当に無反応？

無反応、なんて言葉が使われますが、そもそも刺激されているのかというと、刺激が入力されていない状態にあることが多いのが事実です。刺激されていないのだから、反応していないのは当たり前。いろんな感覚刺激を与え、本当にやるだけのことをした上で、その方が無反応なのでしょう。[「できることが何にもない」なんていうことは、そうでもないことです。しかし、「反応もないし、(活動に)参加しても意味がなさそうだから、やめときますね」といった言葉がケア場面では当たり前に関わられています。

僕は、感覚刺激を入れることで、変わっていく人々を数多く見てきました。観察する力で、その方の反応を見出し、それを増幅し、スタッフや家族に伝えていく。そうするとスタッフや家族の関わり方、つまり刺激の量も質も変わってきます。「ほら、こうすればちゃんと手を握るんだから」

なんて風になっていきます。

本人の微弱な反応に、こちらが如何に気づくことができるか。そしてそれに対して、刺激を返すことができるか。そのことを常に意識しています。

一次に、これまでのご経験から、印象的なケースとの関わりについて教えてください。

### ●役割を0（ゼロ）から1へ

今の病院での経験を話しましょう。結城は「結城紬」が有名で、ユネスコの無形文化遺産に指定されています。僕が担当したある90歳代の女性は、若い頃に結城紬の職人さんをしていました。着物を織るほどの腕前だったようです。今回の入院の理由は内科疾患で入院後に廃用症候群が進行した状態にありました。

関わっていく中でADLの次に考えたのは「役割」でした。生活のほとんどの時間をベッド上で過ごして、生活の中に「役割」が何もない。つまりその方の役割は0（ゼロ）の状態だったのです。紬の職人さんとしては既に引退してしましたし、それを役割として行うというのは難しいだろうな、と思いました。ようやくリハ室に顔を出せるようになり、まずはじめにその方をお願いしたことは、僕と手を繋いでリハ室を1周することです。リハ室を1周しながら、若いスタッフたちに「頑張ってるね」と一声掛けて、肩をポンポンと触りながら、リハ室のスタッフ全員を激励するという役割を、1日2回、その方にしてもらいました。何より良かったのは、それを言われた側の若いスタッフ達のリアクションで、「ありがとう」とか「待ってましたよ」などの嬉しい気持ちをその方に伝えてくれました。毎日2回の役割を繰り返しているうちに、その方はリハ室に行く時間の前になると、自分でベッドから起きているようになりました。おそらく、僕が思うに「私も捨てたものじゃない」という気持ちになってくれたのではないかと思います。それは、その方の病院内での役割が0から1になった瞬間であったと思います。

### ●自ら役割を作り出した瞬間

退院の際に、その方の娘さんがリハ室を訪れてくれました。そして「おばあちゃんから頼まれました」と言って、箱に入った結城紬の財布を取り出しました。その方が昔織った着物の一部を使って、娘さんに作らせた物だそうです。以前は病室で寝てばかりいた方が、OTである僕を喜ばせたいという思いから、娘さんに着物を指定し、財布を作るように指示してくれたそうです。そのようにして、その方と娘さん、そして、その方とOTである僕との人間関係が紡がれていきました。

僕の手を引いてリハ室を歩く、という役割は、OTである僕が想像した、病院内での役割に過ぎないものでした。しかし今回は、その方が、自分自身で人の役にたきたいと、作り出した生活の中での役割です。それはOTとして、何より嬉しい経験でした。

一最後になりますが、神奈川県OT士会の若手OTに、メッセージをお願いいたします。

対象となる方々も、自分たちも、同じ生活者なのです。施設生活とか、病院生活とか、家の中だけとか、ベッド上とか、色々な生活があります。でも「生活」と言っている以上は、同じでなくては不公平です。病気だから、高齢だからといって、一人ぼっちでもいいのか、何もなくていいとか、そんなことは決まてないのです。それだけは忘れて欲しくないと思っています。あたり前の「生活者」であるという視点を忘れずに、やってみましょう。

一川口先生、心のこもった貴重なお話を本当にありがとうございました。

(文責：河村)

## 理事会 報告

### 平成24年度 第2回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成24年7月12日(木)19:00～21:30

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、錠内、奥原、木村、小峰、作田、三浦、野々垣、澤口 委任理事：浅井、佐藤、鈴木、机、中西、富山、福留  
委任監事：清宮、長谷川 その他：鴻井（第1回神奈川県臨床作業療法大会長）、松本（広報部ニュース班）、酒井（広報部対外広報班）、平山（福利部）、沼田（福祉用具委員会）、名古屋、大郷、金山（事務局書記）

#### ●事務局（澤口事務局長）

##### 1) 渉外関連（一部割愛）

##### ①医療専門職連合会（総会）

・日時：H24/ 6/11 18:30～ 会場：県民サポートセンター  
・出席：三役 各団体から「診療報酬改定に関すること」の報告があり、県士会から「精神分野における改定内容の紹介」と「WFOT2014に関する紹介」を行なった。

・公開セミナーをH24/10/19 18:15～開催予定。

##### ②神奈川県病院医療関係団体連絡協議会（12団体）の開催準備

・日時：H24/ 9/26 15時～ 会場：英一番館

・出席：三役にて対応予定

・運営：県士会事務局 現在、他団体の参加確認中。

##### ③神奈川県介護福祉士会設立20周年及び公益社団法人化記念式典ご臨席依頼

日時：H24/10/26 18:00～20:40

・場所：ホテルニューグランド ペリー来航の間

・20周年記念誌へのご挨拶文依頼（締め切り8/15）→出席及び執筆⇒渡邊会長

##### 2) 後援名義使用依頼⇒理事MLにて審議し、すべて承認済み

##### ①横浜市リハビリテーション事業団「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2012」後援

依頼 日時：H24/ 7/27～7/28 会場：パシフィコ横浜 展示ホール

##### ②日本精神障害者地域生活支援団体連合会「全国大会in江の島」への後援依頼と開会式ご来席依頼

・日時：H24/ 7/ 6～7 場所：神奈川県立かながわ女性センター

##### ③みんなにやさしい横浜の住生活モデル事業研修セミナー

・H24/ 9/ 1、10/ 6、11/10、12/15（すべて土曜日）

場所：横浜市総合リハビリテーションセンター

##### 3) 研修会等周知依頼（OT協会関連以外を掲載）

##### ①公益社団法人テクノエイド協会より「福祉用具プランナー管理指導者養成」→HP掲載

##### ②川崎市経済労働局福祉製品アイデアコンテスト→HP掲載

##### ③かながわ住まい・まちづくり協会「第5回住まいのバリアフリー リフォームコンクール」周知依頼

##### 4) 役員等派遣依頼

①平成24年度神奈川県精神障害者スポーツ（バレーボール）大会実行委員役員派遣依頼実行委員会事務局：県精神保健福祉センター3階 県精連事務局内⇒事務局にて、川口氏（北里大学）を推薦し、派遣済み。第1回実行委員会はH24/ 6/22に実施された。大会はH24/ 9/28（大和スポーツセンター）に開催予定。

##### 5) OT協会関連（一部割愛）

##### ①周知依頼・「生活行為向上マネジメントの普及啓発と成果測定研究 事業」報告書、事例集→回覧

・宮城県気仙沼市の老人保健施設から作業療法士募集の協力依頼→HP掲載

##### ②OT協会より諸資料贈呈等

・派遣活動報告書→回覧

・認知症の介護家族が求める家族支援の在り方研究事業報告書

・精神医療別冊「危機の中で人間として生きる権利を！」

・災害時におけるメディカルスタッフの役割ハンドブック

⇒すべて回覧

##### ③OT協会事業への協力（関連部署へ対応を依頼）

・広報部 キャンペーンの協力依頼→広報部へ依頼

・作業療法推進活動のポスター申し込みについて→広報部へ依頼

・自立支援促進に向けた福祉用具活用のあり方調査報告書

・福祉用具相談支援システム運用事業案内とシステム概要のDVD、冊子「福祉用具相談支援システム運用事業・参加申請の手引き」→福祉用具委員会に対応依頼

##### 6) 審議事項

##### ①「第31回神奈川県病院協会学会」後援名義使用依頼及び周知依頼（一般演題の応募協力もあり）

・日時：H24/10/22（月）13時～18時

・場所：神奈川県総合医療会館7階大講堂

・テーマ：「地域医療連携の推進～シームレスな環境を求めて～」

・参加予定：300名 参加費：無料⇒承認

##### ②同上 OT士会にシンポジスト推薦依頼

・理事MLにて「木村理事」推薦⇒承認済み

##### ③神奈川県保健福祉局より「平成24年度神奈川県保健衛生表彰について推薦依頼あり 書類提出締め切り7/31（火）候補対象の選出。事務局一任で対応する。⇒承認

#### ●財務部（野々垣理事）

##### 1) 会費の銀行引き落としについて

・従来のコンビニ決済（各位手数料の合計\582,600）にくらべ、銀行引き落としは年度初めに会費が徴収でき、かつ経費も安く（各位手数料の合計\339,000）なるなどもメリットがあること、デメリットは会員から口座振替用紙の提出がされない可能性や振替用紙返送用の切手・封筒代のための補正予算の必要性があることの説明が野々垣理事よりなされ、検討⇒銀行振り込みの方向性で承認。今年度中に口座振替依頼書等を郵送し、次年度は銀行引き落としと郵便振替の2本柱で移行を促す予定となった。

#### ●広報部（小峰理事）

##### 1) OTキャンペーン（OT協会広報部主催）への人員派遣

・日時：H24/ 8/19（日）10:00～16:00 会場：イオン本牧店

##### 2) 対外広報班（県民・市民への啓蒙・啓発活動）

##### ①高校教員向け企画

・H24/ 6/10開催予定を対象者少数の為、H24/ 8/2110時～に延期。対象：高校教員・生徒・保護者 課題：日時の再検討・広報方法の再検討

##### ②新宿セミナー企画

・H24/ 7/19（木）医療系養成校の入試ガイダンスにブース出展予定

##### ③ヨコハマヒューマンテクノランド（YOTEC）企画

・H24/ 7/27・28 内容：相談会・パンフレット配布・作業活動体験（革細工無料）

##### ④県士会パンフレット作成

HOLLY BELL社（神奈川県三浦）に依頼が決まった。

作成と撮影が進行中。7月下旬入稿、8月中旬納品予定。

##### 3) 審議事項

##### ①一般県民へ向けた新企画立案について

・2012年12月中旬 瀬谷区の養護学校主催の交流フェスティバルへの参加予定。⇒事業計画の補足として承認

##### ②SST普及協会のチラシ封入について

・標記団体よりチラシ同封の依頼あり。今回はニュース広告1/4にて周知する。チラシ同封に関する規定を検討する。

#### ●地域リハビリテーション部（木村理事）

・特別支援学校を中心としたタウンミーティングで、昨年度当会事業の結果として、県立座間養護学校から木村理事宛に学校評議員への委嘱依頼あり、受託した。知的障がい児が在校生の過半数を超えており、卒業就労に関することもこれからの課題となる様子。

#### ●Webサイト管理委員会（作田理事）

・賛助会員B：県士会サイトへのロゴの掲載について仮公開中のページの正式公開、賛助会員募集のためのロゴの掲載について検討⇒承認。7/13より掲載可能。順次運用していく。

#### ●代議員制度対策委員会（錠内副会長）次年度総会へ案を提出。

※紙面の都合で一部割愛…詳細は県士会Webへ（文責：澤口）



求人

## 作業療法士 募集

募集人員：若干名  
 就労期間：即日～平成25年3月31日  
 応募資格：作業療法士免許を有する方  
 待遇：非常勤職員としての雇用です  
 給与：本市規定による 1864円/時給  
 手当：交通費相当分支給  
 勤務時間：8時30分～17時15分  
 ※頻度・時間等は相談に応じます  
 休日：4週8休制（土曜・日曜勤務有り）  
 応募方法：電話連絡の上、面接をいたします。  
 履歴書・免許証の写しをご持参ください。  
 ※まずはお気軽にお問い合わせ下さい

問い合わせ先

### 横浜市立脳血管医療センター

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭1-2-1  
 TEL 045-753-2791（直通） FAX 045-753-2905  
 リハビリテーション部 遠藤まで  
 Eメール：by-ysbckanrika@city.yokohama.jp  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/>



求人

## 作業療法士 募集

平日、午前・午後2回コースの介護予防特化型デイサービス  
 都内または神奈川県内で一緒に働きませんか。  
 施設概要：・アクティブプラザ早稲田（東京都新宿区早稲田鶴巻町）  
 ・アクティブプラザ高田馬場（東京都新宿区高田馬場）  
 ・アクティブプラザ中野新橋（東京都中野区本町）  
 ・アクティブプラザ愛甲石田（神奈川県伊勢原市高森）  
 今後、都内・神奈川県厚木伊勢原地区周辺に店舗を  
 出店予定。  
 募集人員：若干名  
 給与：正社員 当社給与規定により優遇いたします。  
 パート応相談  
 時間：8：30～17：30  
 休日：土・日・祝（完全週休2日制）  
 夏休3日間、年末年始休暇  
 パート出勤日・時間応相談  
 待遇：社会保険完備、交通費全額支給  
 制服貸与、昇給あり（当社規定による）

問い合わせ先

### 早稲田アクティブ株式会社

東京都新宿区早稲田鶴巻町112  
 ☎03-3200-4165（管理部）  
<http://www.waseda-active.com>



求人

## 作業療法士募集（急募）

募集人数 常勤 若干名（新卒可）  
 施設概要 回復期リハビリ病棟 40床  
 療養病棟 77床  
 給与 当法人規定により優遇します  
 勤務時間 平日）8：30～17：30  
 土曜）8：30～12：30  
 休日休暇 4週8休（週労40時間）  
 応募方法 電話連絡の上、履歴書・資格証明書写しを  
 ご送付ください。  
 交通 小田急線・相鉄線・JR相模線  
 「海老名駅」徒歩10分

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

### 海老名総合病院附属

### 海老名メディカルサポートセンター

〒243-0433 神奈川県海老名市河原口1519番地  
 電話（代表）046（235）1311  
 FAX 046（234）8651  
 求人担当：人事総務部 須賀・笠井



求人

## 作業療法士 募集

私たち、みんなの訪問看護リハビリステーションは24時間  
 ご家族と共に安心して生活できる看護を  
 モットーにしております。是非一緒に！  
 募集人員：常勤・非常勤 5名  
 待遇：常勤 当社規定による  
 非常勤1H4000円以上（土日のみ勤務可）  
 賞与 年2回 決算賞与あり。  
 車通勤可  
 勤務時間：9：00～18：00  
 休日：土日祝日、夏休み年末年始 有給あり  
 その他：研修奨励あり。イベント盛りだくさん！  
 ＊まずはご連絡ください！担当 白井まで



〒240-0035横浜市保土ヶ谷区今井町1221  
 電話 045-355-3311  
 E-メール morimori\_shirai@arrow.ocn.ne.jp  
[www.minnano-kango.jp/](http://www.minnano-kango.jp/)



求人

## 作業療法士 募集

応募資格：作業療法士免許を有する方

募集人員 常勤若干名  
非常勤若干名

待遇：当法人規定による。  
昇給年1回。賞与年2回。インセンティブあり。  
各種社会保険完備、制服貸与  
法人所有車使用にて訪問  
車通勤可（駐車場無料）

勤務時間：月～金 9：00～17：30まで

休日：土・日・祝日 夏期休暇・年末年始休暇

応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、  
免許証の写しをご持参ください。

※まずはお気軽にお問い合わせ下さい

### 医療法人敬生会

#### ともろー訪問看護ステーション

〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡1-23-9

TEL 045-823-1976

担当：事務長 金子

Eメール：oubo@keiseikai-med.jp

http://www.keiseikai-med.jp/group/houmon



講習会

## 第13回北里作業療法学会学術集会

主催 北里作業療法学会  
日時 平成24年12月8日(土)13：30～17：30（13：00～受付開始）  
場所 北里大学医療衛生学部 A3号館 33教室  
相模大野駅よりバス「北里大学病院前」下車（乗車時間：約20分）  
内容 「再考する作業療法の技術と魅力～その人の人生に何ができるか～」

本学会は北里大学医療衛生学部作業療法学専攻の卒業生を中心に、平成10年に創設され、毎年、学会員や卒業生、教員らが中心となって作業療法に関する研究・症例報告、また会員間のネットワーク作りを目的に開催しております。今学会では、本会の初代会長である北里大学作業療法学専攻 浅井憲義教授が、今年度をもって退任されることを記念し、特別講演の開催を予定しております。永年に渡り作業療法の発展に貢献され、数多くの実績を上げられた浅井教授がこれまで培ってきた作業療法のやりがいや魅力等について講演していただきますので、是非多くの方のご参加を、心よりお待ちしております。

13：00～受付開始

13：30～総会

14：00～特別シンポジウム

「作業療法だからできること～各領域におけるOTの技～」

15：25～浅井憲義教授退任記念特別講演

「作業療法の愛とロマン（仮題）」

16：50～演題発表

17：15～閉会式

参加費 北里OT会員1500円、非会員2000円

申込み方法 下記メールアドレスまで、

件名「北里作業療法学会学術集会申し込み」

1. 氏名（卒業生は〇〇期生の記入もお願いします）

2. 所属

3. 職種

を明記の上、お申し込みください。

定員になり次第、締め切りとさせていただきますのでお早めにお申し込み下さい。

生涯教育ポイント OT協会生涯教育制度・基礎コース1ポイント

### 問い合わせ 北里作業療法学会事務局

担当：平田樹伸 Email:kitasato.ot@gmail.com



講習会

## 昭和作業療法卒後教育セミナー 「大人の発達障害について」

主催 昭和作業療法卒後教育セミナー  
日時 平成24年11月11日(日)12：30～受付開始 PM13：00～16：00を予定（その後、総会）  
場所 昭和大学保健医療学部（長津田キャンパス）  
JR横浜線十日市場駅（徒歩20分/バス10分）・東急田園都市線青葉台駅（バス20分）  
地図・交通アクセス：http://www.nr.showa-u.ac.jp/access.htm  
内容 テーマ：大人の発達障害について  
講師：昭和大学付属鳥山病院院長 加藤 進昌 先生

ADHDやアスペルガー症候群などで知られる「発達障害」ですが、子供の頃に発見されず、大人になってから見つかった人たちが、最近増えています。今回、「大人の発達障害」専門外来を開設し、診断を受けた方々にデイケアを行っている昭和大学付属鳥山病院院長加藤進昌先生に最新の知見や治療法についてご講演を頂きます。

参加費 会員1000円、非会員1500円

申込み方法 以下の内容をメールに記入し、件名「セミナー参加希望」としotdアットマークnr.showa-u.ac.jpに送信してください。（携帯メール可）

1. 参加者氏名 2. 所属 3. 返信先アドレス・電話番号

※受付完了のメールは8/25以降に発信します

申込み締切 平成24年11月4日

生涯教育ポイント OT協会生涯教育制度・基礎コース1ポイントの付与対象

問い合わせ 昭和作業療法卒後教育セミナー事務局  
横浜市緑区十日市場町1865 昭和大学保健医療学部  
作業療法学科内

<E-mail：otdアットマークnr.showa-u.ac.jp>

入会案内：http://www.nr.showa-u.ac.jp/ot/index.html



講習会

## SST普及協会第17回 学術集会in埼玉

平成24年12月7日(金)8日(土)  
☆テーマ「SSTの本質を探る」  
☆参加費：個人会員 事前：8,000円 当日：10,000円（賛助会員は1施設3名まで会員扱い）  
☆非会員：事前10,000円 当日：12,000円 学生・当事者 当日のみの受付3,000円  
☆プレセミナー参加希望 事前のみ受付 参加費+3,000円  
☆会場：大宮ソニックシティ（さいたま市大宮区桜木町1-7-5 JR大宮駅すぐ）  
・大会長：天笠崇（代々木病院）・実行委員長：佐藤珠江（埼玉精神神経センター）  
○会長講演「SSTと心の内なる変化」  
○教育企画・講演「会長と語る－精神科医の姿を学ぶ」[リカバリーを目指すデイケア-SSTの活用]  
「地域ケアの時代こそSSTの出番－その原理・技術と活用の方法」  
○シンポジウム：SSTの本質を語る  
○事例研究6題（訪問看護・モジュール・医療観察法・発達障害・気分障害・若手（就労支援））○ポスター発表（一般演題）  
○ランチョンセミナー ○プレセミナー開催（12/7am）

大会ホームページ URL:http://www.smet.jp/sst-17大会ブログ www.ameblo.jp/sst2012  
大会事務局：SST普及協会南関東支部埼玉SST研究会 sst-17@saitama-ni.com



## 講習会

- 「中枢神経疾患リハビリテーションにおける臨床的な評価方法」  
日 時：10月7日(日)場 所：町田市文化交流センター
- 「朝から徹底実技！呼吸のフィジカルアセスメント」  
～楽になる楽しい呼吸リハビリテーション入門～実技編～  
日 時：2012年10月20日(土)ウィリング横浜  
講 師：佐野 裕子 先生
- 「若手療法士のための動作分析と臨床推論」～歩行編～  
日 時：2012年10月21日(日)町田市文化交流センター  
講 師：石井 慎一郎 先生
- 「脳卒中患者に対する機能的運動課題達成のための治療戦略」  
～最近の脳科学の知見に基づいた理学療法介入～  
日 時：2012年10月28日(日)場 所：専門学校社会医学技術学院  
講 師：潮見 泰蔵 先生
- 「リハビリテーションと神経可塑性」  
日 時：2012年11月4日(日)昭和大学 横浜キャンパス  
講 師：森岡 周 先生
- 「変形性股関節症に対する理学療法」  
日 時：2012年11月11日(日)専門学校社会医学技術学院  
講 師：湯田 健二 先生
- 「認知症のリハビリテーション」～特に行動・心理症状へのアプローチを  
中心に～  
日 時：2012年11月23日(金・祝)東京衛生学園専門学校  
講 師：田中 義行 先生
- 「臨床に生かすニューロリハビリテーション」  
～疾患からではない、臨床神経行動観察から見たニューロリハビリテーショ  
ン～  
日 時：2012年11月25日(日)臨床福祉専門学校  
講 師：宮口 英樹 先生

上記すべての講座の詳細・申込み：療法士.comのHPにて受付  
<http://ryouhousi.com/modules/column/ryouhousi.com-planning/seminar-2st.html>  
 問い合わせ：info@ryouhousi.com



## 研修会

## 平成24年度パソコンボランティア 指導者養成事業「通常研修」

- 主 催 日本障害者リハビリテーション協会情報センター  
 日 時 平成24年10月12日(金)から10月14日(日)東京  
 平成24年11月9日(金)から11月11日(日)福岡  
 平成24年11月30日(金)から12月2日(日)東京  
 平成25年2月22日(金)から2月24日(日)沖縄
- 場 所 東京研修：戸山サンライズ  
 福岡研修：サンライフ第3ビル  
 沖縄研修：未定
- 内 容 コミュニケーション機器としてパソコンを活用するた  
 めの操作能力開発を目的とした研修を障害別カリキュ  
 ラムにより実施する。詳細はHP参照ください。  
<http://www.jsrpd.jp/ic/pcv/about.html>  
 講 師：松本琢磨（神奈川県総合リハセンター）、畠  
 山卓朗（早稲田大学）、寺島彰（浦和大学）、河村宏（支  
 援技術開発機構）、ほか
- 対 象 パソコンボランティア、セラピスト等のICT支援者  
 参加費 ￥4000（資料代）  
 定 員 各研修20名  
 申込み方法 下記の研修申込フォームのページより、受講者本  
 人が必要事項を入力の上申し込んでください。  
<http://www.jsrpd.jp/ic/pcv/form.html>

申込み締切 なるべく開催日2週間前まで  
 生涯教育ポイント なし

問い合わせ  
 日本障害者リハビリテーション協会情報センターパソコン事務局  
 E-mail:pcv@list.jsrpd.jp  
 TEL：03-5273-0796 FAX：03-5273-0615

## 遂に始動！

～求む！～「懇親会・施設見学会の委員・  
ボランティアをやって下さる方」



第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会（横浜）が2014年6月18日（水）～21（土）の4日間、パシフィコ横浜を会場に行われます。演題登録開始は第47回日本作業療法学会（大阪）大会の演題登録後（予定）の2012年12月～2013年4月、つまり今年の冬がスタートです！皆さまお忘れお間違いのないよう、今から準備に取り掛かって下さい。

さて、いよいよ、2年後に向けて大会準備が始まりました。たいへん大きな大会ですのでよりいっそう大勢の方のご協力が不可欠です。そこで、大会組織委員会（大会長：中村春基）より神奈川県士会会員の皆様には、主に「大会運営」や「懇親会」「施設見学」などの協力依頼が入ってきました。

その第一弾として「懇親会」「施設見学会」を担当する独立採算プログラム委員会（委員長：岩瀬義昭）より、会を支援して下さる委員・ボランティアを募集します。「英語が話せないよ～」「自信がありません…」「世界大会って何ですか？」「日本を世界に私が紹介したい…やっぱり舞妓さんかな」「私が懇親会でサムライ役になります（注：懇親会の具体的な内容が決まるのはこれからです！）」まずは興味をもたれた方、下記までご一報下さい！

独立採算プログラム委員会委員：澤口（職場：藤沢病院）  
 Tel&Fax：0466-23-2321（直） E-mail：ot@fhp.or.jp  
 ※なるべく e-mailでお問い合わせ頂けると助かります！

連載

## 青年海外協力隊体験記

## ～大草原の小さな私～

## 第10回 作業療法は国境を越える

青年海外協力隊 平成23年度2次隊 川島由貴子



●執筆者プロフィール

川島(旧姓 堤)由貴子

大学卒業後一旦就職するも、退職。その後、作業療法士資格を取得し、都内の病院へ3年間勤務する。平成23年3月退職し、7月から約2カ月の訓練を経て、9月より協力隊員としてモンゴルに赴任。国立外傷センターにて活動中。

モンゴル語は難しい。今まで全く触れたことのない言語だからってことだけでは無いと思う。何しろ発音がとっても難しい。「なんで、こんなに発音を難しくしちゃったんだろう?もっと簡単に言う方法はいくらでもありそうなのに。」とため息が出る。発音が少しでも違っていると、何度繰り返して言っても全く理解されないことがあるのだ。こちらも簡単に諦めてはいけないと思い、何度もそれらしく言ってみるのだが、ダメな時は全くダメ。その単語が、話の中でとても重要な要素である時は、非常にもどかしい。そして、そういう時は最後は辞書を見せたり筆談をしたりして幕を閉じるのだ。

しかし、そもそもモンゴルでは、ゆっくり話したり詰まったりしていると、相手は話を聞いてくれないということも往々にしてある。当然だが、日本にいる時は、自分の話を聞いてもらうということにあまり苦勞はしなかった。でも、ここはモンゴル。単語レベルでもいい、伝えるのが大事とも思うけれど、その単語さえうまく発音できないこともあるのだ。

しかし、どんなにゆっくり詰まりながらも相手が熱心に聞いてくれる場合がある。それは、患者さんやその家族に対して話す時だ。そういう時、思うことがある。OTという技術があってよかったなあ、と。患者さんと会話を繰り返したおかげで、少しずつモンゴル語が上達したと思う。

また、OTの技術がコミュニケーションを補ったり支えたりすることもある。言葉がわからなくても、

画像や相手の状態を診ることで理解できることも多い。そしてまた、相手はOTによって体が回復していくことで、どんどんこちらとコミュニケーションを取ろうとしてくれる。

日本にいて、患者さんに自分が支えられているなあ、と感じたことはよくあったけれど、こちらでもやっぱりそれを感じる毎日だ。そして思うのは、OTの技術があれば、世界中の色々なところでやっていけるということだ。作業療法は国境を越える、ということを実感している。

## モンゴルのお祭り「ナーダム」の紹介

「ナーダム」とは「遊戯」という意味で、神に捧げるモンゴルの国民的なスポーツの祭典である。毎年夏頃(首都ウランバートルは7月11、12日頃)に行われる。相撲(ブフ)、競馬、弓道の3つの競技を行い、競技が行われている周囲では、様々なイベントが繰り広げられる。「ナーダム」は世界的にも有名になり、各国から大勢の観光客が訪れる。

みなさんも来年はナーダムを見にモンゴルに来ませんか?

## 青年海外協力隊

JICAボランティア事業は日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する事業です。開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。その主な目的は、(1)開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与、(2)友好親善・相互理解の深化、(3)ボランティア経験の社会還元です。(以上、JICAホームページより抜粋)

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** <157号> 2012年9月発行(年6回発行)

発行責任者 渡邊愼一

編集責任者 小峰一宏

編集担当 松本政悦・菊地美帆・千葉友浩・矢野竜也・川島由貴子・本間嗣崇

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997  
月火水木金 10:00~16:00 メールアドレス: jimukana-ot.jp一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川県

連載